

いいやま 社協 だより

No.295

発行・編集：社会福祉法人
飯山市社会福祉協議会
〒389-2253
長野県飯山市大字飯山 812-1
電話：0269-62-2840
FAX：0269-62-2904
平成20年(2008)3月15日発行
URL：http://www.iiyama-catv.
ne.jp/~s.fukusi/

寄せられています
地域の方の力



老人福祉センター湯の入
荘に自分で彫られた観音様
をご寄付いただきました。
秋津の高山森一郎さんから
す。力作をお寄せいただき
ありがとうございます。

楽しかった！雪かき体験

雪国で交流、心の修行

寺町・雪国修行道場

2月8日(金)、9日(土)にかけて、太田地区雪かき道場実行委員会、飯山市社協、長野県社協の主催で開催された寺町・雪国修行道場には、長野 山梨 東京 岐阜



⑥ 今年は屋根の雪下ろしにも挑戦！
今までは屋根の雪は対象外でした。

阜 静岡の大学生・専門学生・高校生・スタッフを含め60名が参加しました。
寺町飯山は、高僧白隠が悟りを開いた地であり、精神性の高い風土に恵まれた地であります。このことを生かし、修行道場として、18年豪雪の経験から支援方法の一つとして広域支援を構築することや、ボランティアが雪国の風土や暮らしを味わい交流し関係づくりをすすめることを目指しています。

師範指導のもと 屋根の雪下ろしも

「越後雪かき道場」を主宰している上村靖司氏(長



⑤ 雪かきの合い間にお茶をいただき、雪国の暮らしを聞くことが出来ました。

岡技術科学大学准教授)を講師に招き、座学で雪かき道について学んだ後、4グループに分かれて2日間、高齢者・障がい者世帯での除雪活動(家屋周辺の除雪や、師範指導のもと屋根の雪下ろしも)が行われました。

静岡から参加した学生からは、「こんなに多くの雪を

見たことは初めてです。高齢者にとって冬の生活は大変だと感じました。少しでも役に立てればと思います。」と感想が聞かれました。
夜の夕食交流会では地元

認識を改めました。(20代男性、学生)
・雪かきをして、疲れたけどお礼を言つて下さり、涙まで流して下さったので、疲れも吹っ飛び、いい体験をさせていただきました。(10代女性、学生)
・楽しめる仕掛けが数多く見受けられた。しっかり雪かきを学べる内容。地元の紹介。「また来たい」という感じを受けた。(30代男性、一般参加)
・是非、次年度以降も継続していつて頂きたいと思

今回、太田地区雪かき道場実行委員会長の笹原壽氏は、「若い人がたくさん来てくれて、地元住民にこれだけ感謝される取り組みができて本当に良かった」と話されていました。
当会では、今後もこの取り組みを進めていきたいと考えております。

アンケートから

・テレビで見た時は「これくらいなら楽勝じゃん?」と軽視していたのですが、実際に雪かきを体験してその

・雪かきを結ぶ出逢いは最高です!みなさまお疲れ様でした。(20代女性、一般参加)
・雪かきを結ぶ出逢いは最高です!みなさまお疲れ様でした。(20代女性、一般参加)
・雪かきを結ぶ出逢いは最高です!みなさまお疲れ様でした。(20代女性、一般参加)
・雪かきを結ぶ出逢いは最高です!みなさまお疲れ様でした。(20代女性、一般参加)

災害時にも強い福祉の地域づくり

いざという時

頼りになるのは近くの他人

見守りとうど衆研修会

毎年、隣組長が交代したこの時期に見守りとうど衆研修会を開いています。今年には区長さん、役員さんのご協力をいただき、10地区で開催しました。飯山市、共同募金配分金、共同募金60周年記念特別配分の助成により内容が豊富になりました。

ときに、地域住民による救出は8割が生きて助かっているが、自衛隊、消防隊などによる救出は・・・」
また、阪神淡路大震災に被災した家族の状況を録音でお聞きし、「普段から備えておくこと、特に、すぐにでもできる家具止めの必要性」が強調されました。

「災害史に学ぶ」

柳原では、水野久雄先生から「飯山に起こった災害の歴史から」と題して講演いただきました。飯山戦争を含めて20年毎に見舞われた大火災の様子や、善光寺地震での教訓を学びまし

外様では「災害時の支えあいと見守りとうど」について、市社協岸田会長が講演をしました。
秋津 瑞穂では、昨年の木島の事例からマップづくりの大切さを学びました。

飯山では、レスキューストックヤード代表理事栗田暢之先生から「地域の防災力を高めよう」と題して講演が。「阪神淡路大震災の



④ 人気だった家具止め用品展示。長野県社協職員より説明がありました。(飯山地区)



④ 瑞穂地区でのシンポジウム。「災害時にも役に立つマップづくり」に向けて事例発表を聞き話し合われました。

常盤と富倉では、長瀬哲先生から「飯山から見た善光寺地震」と題して講演いただきました。「地形の上から見ても起こるべくして起こった善光寺地震は、学ぶところが多い。柳新田では、近隣が協力して倒壊した家屋に閉じ込められた人や馬を助け出した記録が見つかり参考になる。それぞれの自宅に残る重要な文献を大事にして欲しい。」と話され、「不意の災害、ふだんの備え」と引用されました。



④ 太田地区でのCAPワークショップ。見守りとうど衆としてできる「子どもの災害と見守り活動」

木島では、須坂市社協の「助け合い起こし推進係」の名前に由来する活動の取り組みや、前馬場町区長岩崎宏章氏から地域づくりの



④ 80世帯の富倉地区では25名のかたの参加がありました。

取り組みやマップづくりの具体例を学びました

飯山警察署のお話

研修会終了後、飯山警察署から「災害に備えて」「悪質商法」について、有意義なお話をいただきました。

アンケートの結果

全参加者240名のうち、2回目から実施したアンケートに130名の回答をいただきました。来年度は、今年と同じく「災害時にも強い福祉の地域づくり」をテーマに希望される方が56%でした。